



検査だより第76号

2022年7月1日発行

～検査だよりは検査部が年3,4回発行している不定期広報誌です～

検査部の役割について

赤司 浩一 検査部部長

近年の遺伝子・蛋白計測法の飛躍的進歩により様々な病態が分子レベルで明らかにされ、疾患概念も日々書き換えられており、臨床検査医学が果たすべき役割もそれに並行して益々大きくなっています。新しい計測機器が次々と開発され、確定診断のみならず、治療法選択のための層別化、治療効果の判定など、診療のすべての段階において正確な検査の重要性が広く認識されるようになりました。九州大学病院検査部は、1957年に中央検査部として発足以来、九州大学病院における高度診療の要として最新の臨床検査を提供することにより病院の発展をその根幹から支えてきた中央診療施設で、臨床検査技師76人からなる大所帯です。

私は、本年度より康東天先生の後任として検査部部長の大役を引き受けることとなりました。九州大学第一内科血液研究室の出身ですが、九州大学病院検査部大河内教授の下で輸血部医員として働いたのが最初の検査部での仕事です。2004年からは遺伝子・細胞療法部部長として輸血検査、血液腫瘍の検査、造血幹細胞移植や臓器移植、それに伴う免疫関連の検査などに関わってきました。2016年には、第17回日本検査血液学会を福岡市で主催しました。2008年以降現在まで血液・腫瘍・心血管内科および免疫・膠原病・感染症内科の科長を、更に2018年から2022年3月まで九州大学病院長を務め、検査部の役割を色々な角度から見る機会を得ました。その間、コロナ禍における検査部の貢献は大変大きく、その使命感と技術力に深く感銘を受けました。

検査部の基本的な役割は、正確な臨床検査結果を速やかに報告することにあります。九州大学病院検査部は、国際標準認証であるISO15189を全国の大学病院検査部の中で最も初期に取得したグループに属しています。このように臨床検査技師や検査専門医により精度管理を体系的に取り組んで来たことは誇るべき実績です。九州大学病院は、臨床研究中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院、小児がん拠点病院など様々な領域において拠点病院として機能する必要があり、高度医療を支える検査部としても重要な役割があります。検査部は、様々な生理機能検査も行っており、大変広い臨床分野をカバーしています。大学病院の検査部として、検査技師の実務教育に加え、新しい検査法の開発や研究マインドの醸成なども重要でしょう。これからの検査部に何が新たに必要かを見極めながら、検査部のひとりひとりが互いに協力し更に発展できる環境作りにも努力していきたいと思っています。何卒宜しくお願い致します。

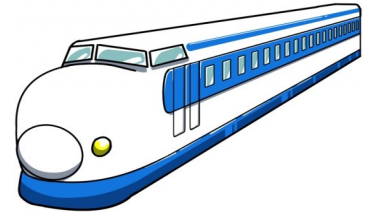
《今号の紙面》

検査部部長よりあいさつ	…p.1
鉄分検査室	…p.2
新人紹介	…p.3
検査部からのお知らせ・編集後記	…p.4



九州大学病院 検査部・病理部

鉄分検査室 第60回 《1号機関車》 白いかもめ



島原鉄道諫早駅ホーム

博多駅より長崎行き
特急<かもめ>左窓際席に乗りし諫早駅に着くと左手の島原鉄道のホーム壁面に「1号機関車」と記された不思議な大きなパネルを目にすることができる。今年9月23日に西九州新幹線が開業すると新幹線<かもめ>からこのパネルは見られず、<かもめ>からのこの眺めはもうすぐ見ることはできなくなる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年が鉄道150周年である。

明治五年五月七日(1872年6月12日)¹⁾品川・横浜間が仮開業し、同年九月十二日(10月14日)¹⁾新橋・横浜間全線が開業した。新橋・品川間の一部約2.7kmにあたる路線は海上に建設された。高輪築堤である。この工事に時間を要し仮開業から4ヶ月後に全線開業した。山手線新駅高輪ゲートウェイ駅建設の際忘れられていたこの高輪築堤が地中から現れた。令和3年(2021)9月17日「旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡」が国の史跡に指定された。遺構の一部の保存が決定している。

全線開業初日は「汽車運転休業」となり「臨幸鉄道開行式」が挙行された。翌日より全線の営業が始まった。新橋・横浜間に1日当たり9往復列車が運行され、下りの始発列車は新橋を08時00分に発車し横浜に08時53分に到着した。

では<鉄道唱歌>にうたわれている

♪ 汽笛一声新橋を

はや我汽車は離れたり

の最初の汽車は一体どんな汽車だったのだろう。

新橋・横浜間の開業に向けてイギリスから10両の蒸気機関車が輸入され、最初に日本に到着した機関車を1号機関車とした。この1号機関車は約8年間新橋・横浜間で活躍したのち各地に転属し、明治44年(1911)4月1日島原鉄道開業時に譲渡され島原半島で活躍した。昭和5年(1930)車両保存の話が持ち上がり島原駅で盛大な送別式が行われ現役を引退した。現在大宮の鉄道博物館に1号機関車は展示されている。幸いなことに開業時の蒸気機関車を今でも見ることができる。その車体に送別式の際掲出された「惜別感無量 昭和五年六月」の銘板も見ることができる。



段ボール製原寸大1号機関車

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

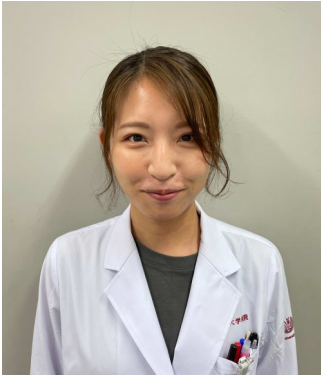
今春3月20日から4月3日まで「諫早駅スプリングフェスティバル」の一環として島英雄氏作成の原寸大段ボール製の1号機関車が展示された。銘板も段ボールで再現されてある。段ボール製ではあるが92年ぶりに1号機関車は最後に活躍した地に里帰りをはたした。

5月10日より西九州新幹線<かもめ>の試運転が開始された。鉄道150周年を迎える今秋9月23日西九州新幹線武雄温泉・長崎間が開業する。

1) 旧暦は漢数字、新暦(太陽暦)は英数字にて表記しています。

新人紹介

垣野 星(かきの あかり)



昨年7月より勤務させていただいております垣野星と申します。以前は熊本
の民間病院で細菌・輸血部門に所属しており、感染管理室も兼任しておりました。コロナのためオンラインとなってしまいましたが、退職後はタイのマヒドン大学
院で公衆衛生を学びました。大学病院は検体数も多く、症例も幅広いため
日々の業務でご迷惑をおかけすることが多いですが、検査部の皆様の経験豊
富で優しいご指導のおかげで臨床復帰できております。

一人で海外旅行をするのが好きなのと、体を動かすのが好きで学生のころか
らヨガを続けています。

まだまだ未熟なところが多いですが、これからよろしくお願いいたします。

船崎 希(ふなさき のぞみ)

4月より検査部に入職いたしました、船崎希と申します。慣れないことばかり
でご迷惑をおかけしておりますが、少しでも早く貢献できるよう頑張ります。

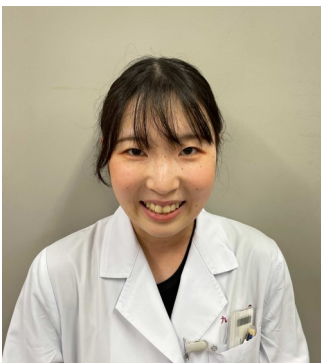
趣味は旅行と温泉で、ご当地グルメを食べることが好きです。どうぞ、よろし
くお願いいたします。



香田 彩華(こうだ あやか)

4月より検査部に入職いたしました、香田彩華と申します。慣れないことばかり
で日々ご迷惑をおかけしておりますが、一日も早く検査部の力になれるよう精一
杯頑張ります。

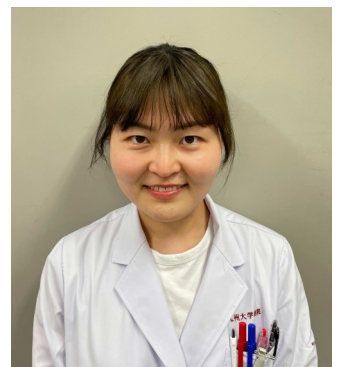
体を動かすことが好きで、学生時代はソフトテニス部に所属していました。ま
た、最近では編み物に熱中していて色々作っています。これからどうぞよろしくお
願いいたします。

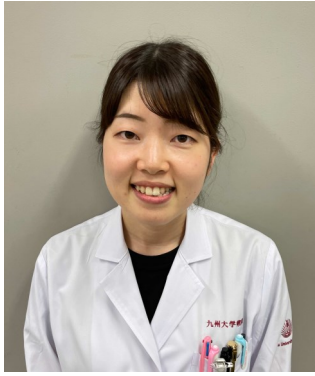


藤原 萌(ふじわら もえ)

4月より遺伝子・細胞療法部に入職致しました藤原萌と申します。慣れな
いことばかりでご迷惑をお掛けしておりますが、一日でも早く先輩方のような
技師になれるよう精一杯努めて参ります。

大学ではダンス部に所属していました。今年は新しいジャンルのダンスに挑
戦したり、幼少期に習っていたクラシックバレエをまた習い始めたいと考えてお
ります。他にも音楽、旅行、散歩などが好きです。今後ともどうぞよろしくお願
い致します。





平井 遥(ひらい はるか)

4月より検査部に入職致しました平井遥と申します。日々ご迷惑をおかけしておりますが、先輩方の温かいご指導の下、沢山学ばせて頂いております。早くお役に立てるよう精進してまいりますのでよろしくお願い致します。

学生時代は長年テニスをしていましたが、最近は機会がなく残念です。また、食べることが好きで、お酒では特にクラフトビールに目がありません。いいお店がありましたら教えて頂きたいです。よろしくお願い致します。



吉岡 秀明(よしおか ひであき)

今年度から検査部に入職いたしました、吉岡秀明と申します。

修士課程を経て、臨床現場に第一歩を踏み込みました。業務を通じて学部時代の記憶を探し出しつつ新しい知見も出てくるため、踏み出したのはまだスタートラインであることを実感しております。そして、「何事にも面白さを見付けられる」という自分の強みを生かして、これから習得する多くの知識や経験を現場で発揮したいと思っております。

趣味は、バスケットとカフェ巡りです。日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



【検査部より外部委託検査変更のお知らせ】

令和4年度に2年に1度の外部委託検査契約更新が実施されました。

それに伴い令和4年4月1日(金)より新規契約項目や委託先等の変更が発生しております。

詳細につきましては令和4年4月15日発行の検査通報 34-3 をご確認ください。

採血管の変更については以下に記載の通りです。

外部委託項目では、白血球数や血小板数によって採血量が異なる場合があります。

採血が困難で指定された量の採血が難しい場合は、検査室にお問い合わせください。

【感染症検査】 ■その他

項目名: サイトメガロ核酸定量

採血管(ラベル)名称: SRL白PSF 5mL

* 基準範囲等、その他の項目に変更はございません。

検体検査室・受付(5771)

編集後記

4月より検査部部長として赤司先生が着任されました。検査の世界はめまぐるしく進化しています。検査機器の進歩、医療を取り巻く環境変化に迅速に対応すべく、検査部は進んでいきます。

(内海健)